

「サンタ・クルース病院拡張（診療室建造）計画」

9月17日、当館が実施した草の根無償資金協力「サンタ・クルース病院拡張（診療室建造）計画」の引渡式が行われ、当館から赤阪清隆総領事他が出席しました。

サンタ・クルース病院は、地域住民に対する医療提供に加え、各種福祉施設をはじめとして当地日系社会に対する医療提供に努めています。同病院との間では、既に昨年11月19日に本件に関する贈与契約署名式が実施され、伯貨にして203,780レアルが供与されていました。

引渡式は同病院通常業務終了後の午後6時から開始され、まず本件資金協力によって完成した病院別棟の1階入口で、パウロ・ヨコタ理事長及び赤阪清隆総領事がテープカット及び記念プレートの除幕を行いました。

その後、同建物2階に移り関係者の挨拶が行われました。

まず同病院のパウロ・ヨコタ理事長から、来院者数が年20%の割で増加しているが、ブラジル政府の支援が少ないことや金利の高騰のために病院の改装が実施できなかった、この厳しい状況のなかこのたびの援助は大変ありがたい、当病院そのものが日伯友好のシンボルである、との挨拶がありました。

続いて赤阪清隆総領事が、同病院の地域住民及び日系コロニアに対する医療提供に敬意を表するとともに、本件援助により同病院が一層充実し地域の保健医療に貢献することを期待しますとの挨拶を行いました。

式典には100名を越す関係者が出席し、同病院が地域住民及び日系コロニアの中核的病院となっていることをあらためて印象づけられる引渡式となりました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「サンタ・クルース病院拡張（診療室建造）計画」

被供与団体：サンタ・クルース日系慈善協会

契約署名日：2001年11月19日

供与限度額：US\$86,715

案件概要：同病院別棟の増築を行い、緊急に診療が必要とされる外来患者の診療室を設けたほか、栄養・心理指導室、待合室、看護婦控え室等を整備したものです。



完成した同病院別棟（奥の建物）



記念プレートを除幕したパウロ・ヨコタ理事長(左) と赤阪清隆総領事（右）



挨拶するパウロ・ヨコタ理事長